

横山由清 よしひら 國學者、歌人。文政九年江右生れ、明治十二年十一月二分歿（八六一七九）。通稱保二。號月の屋、月舎、瓊華書屋、習靜堂、都岐乃屋等。歌人横山桂子の養子。本間游清、伊能毅則いごうの國學を、養母と井上文雄いぶんの和歌を學ぶ。また蘭學にも通じ、「ロビンソン・クルーソー漂流記」のオランダ語譯簡約版を重譯、ダニール、デ、フー作「實敏遜漂流行記略」(横山保二名、安政四年九月瓊華書屋藏)と題して刊行(復刻版・大正十四年刊、昭和五十年九月二十七日丸井一文社)。維新後は昌平學校、制度局、左院等にお出仕。明治八年元老院少書記官にお任じ、「書典類纂」編纂にお従事。國史故實こくしこの詳しく、晩年ばんねんは東京大學で古代法制史を講じた。

『書典類纂』皇仁遷成篇(附録二種神祇篇) 『全六冊』(黒川真頼主編・福羽美靜檢閲、昭和十四年十一月) 『書典類纂會』、『纂輯御承圖』(全一冊) (黒川真頼主編・福羽美靜檢閲・佐藤誠實校、昭和十四年十一月) 『書典類纂會』等がある。

